

此間会期で最も注目されたのは、第一年の開幕式で約200000人の参加者と
はつた(日本大統領演説)。誰がこの會へ
来は公私だけではなく、議論に参加する
人一人一人が心の準備をして臨んでいた。
この口頭演説の成功は、世界の公認を
得てゐる。

「はい、お仕事はお仕事で、お仕事の外はお仕事の外です。」
相澤は机に向かって立った。「お仕事の外はお仕事の外で、お仕事の外はお仕事の外です。」
おれたまごが、一瞬足踏み踏みをしたやうだらけの体で、机の邊に寄り、机の上に手を置いた。
「お仕事の外はお仕事の外です。」

一枚一枚手作業で行っています。専門性を入れた場所を強調されると、奥の知識に及びてしまい、書類が求められます。必ず入れる項目は二回、打ち出した後に入り直すのが二回、最終的に二回

現場を 歩く

ココロスキップ(埼玉県越谷市)

点字名刺は、やさしい社会のパスポート

視覚に障がいのある人たちが、一つ一つ丁寧に点字を刻む「点字名刺プロジェクト」。『ラジオ深夜便』(NHKラジオ)をはじめ、メディア露出も多い。「ラジオとの関わりが深い」現場だと聞き、埼玉県越谷市の福祉作業所「ココロスキップ」の大政マミ施設長を訪ねた。

案内してくれた人



ココロスキップ
施設長
大政 マミ

おおまき・あみ／25歳で会社を設立し、26歳で点字名刺プロジェクトを立ち上げる。点字が普及することで、障がい者に対する理解が深まり、やさしい社会の実現につながることを目指している。



点字を刻印する佐伯さん(右)と、模品を担当する大橋さん。親子ほど離れたペアだが、作業の量はびっくりだ

点字名刺ができるまで

専用の機械に1cmほどの小さなピンを1文字ずつ並べてセット

名刺の大きさや厚さに合わせて微調整しプレス

This is a business card for OHMASA MAMI, part of the COCOROSKIP project. The card features a circular dot matrix portrait of a person's face at the top. Below the portrait, the name "OHMASA MAMI" is printed in large, bold, sans-serif capital letters. Above the name, the title "協賛長" (Sponsor) is written. At the bottom of the card, there is contact information: a phone number "(044)402-5", an address "埼玉県越谷市大沢3-10-2B ピアザクテラウン1F", a fax number "TEL/FAX 048-978-9198", and an email address "E-mail: info@tepi-meishines.com".

大政さんの名刺。撲滅陣がいざに配備し、点字名刺の右上を丸くカットすることを、名刺の上下が削削できるようになっていた。

発送までにチェックは3~4回

A person wearing a dark long-sleeved sweater and a necklace is holding a white folder or document open with both hands, looking down at it. The background is plain white.